

# 横川っ子だより



## 自然の中で 友達との絆を育む

7月20、21日、5年生が岡崎市にある愛知県野外教育センターでの野外活動を体験しました。スローガン「仲間と協力 自然とふれ合う 最高のキャンプ ～心をついに～」を掲げ、子どもたちは、自然の中で友達との絆を育みました。何より、家を離れ、学校を離れて友達と生活することで、今まで気づけなかった家族の思い、友達よさのよさがわかるよい機会となりました。前日までの大雨で、当日は天候が心配されました。野外活動は、自然が相手だけに、突然の雨など、思い通りにいかないことがあります。子どもたちには、完璧を求めず、不便さ、不自由さを楽しむ気持ちをもってほしいと伝えました。

当日は、天候にも恵まれ、ウォークラリー、飯ごう炊飯、川遊びなどを楽しみました。中でも、キャンプファイヤーでは、炎に「友達、絆、希望、優しさ」を誓い、今でも子どもたちの心にしっかりと灯っていることと思います。



川の水の冷たさ、風に揺れる木の葉のにおいを感じながら、自分で課題を見つけて、解決法を考え、やり抜く力を養うことができた2日間でした。

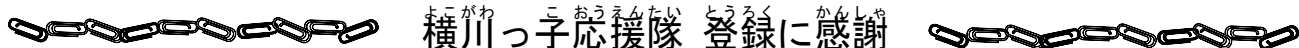
## 多文化共生社会を考える

今年の4月に、改正出入国管理法が施行されました。労働力不足を解消するために、外国人労働者の受け入れを拡大するものです。半田市では、在住外国人の数が過去最高を毎月のように更新し、4月1日時点で4,185人、市の人口の約3.5%を占める状況です。横川小学校は、半田市の中で外国につながる児童の受け入れが最も多く、9月2日時点で56人、全校の約9.2%を占める状況です。

これからの社会は大きく変わります。多様な文化や言語をもった人たちと一緒に働くようになり、「多文化共生」が求められます。外国につながる人たちとの共生社会の実現を目指して、外国人にとっても日本人にとっても、暮らしやすいまちづくりを考えていく必要があります。



横川小学校は、平成28年7月27日に、ブラジルの子どもの教育における協力関係を確立するため、在名古屋ブラジル総領事館と交流協定を結びました。この夏、私は、在名古屋ブラジル総領事館を訪問し、ネイ領事館と対談する機会をもちました。今後は、国際理解教育を通して、子どもたちのもの見方や考え方を広げ、「多文化共生」を意識させながら、自分の将来を描くことができるような教育を進めていきたいと思っております。



## 横川っ子応援隊 登録に感謝

今年度より半田市では、家庭・地域・学校が連携・協働して子どもたちの成長を支える「コミュニティ・スクール」が始まりました。横川小学校では、これまでも地域学習を通して、保護者・地域の皆様より多くのご支援をいただき、子どもたちが学校では味わえない体験をさせていただきました。感謝申し上げます。

さらに、横川小学校コミュニティ・スクールの輪を広げ、地域を担う人づくり、まちづくりを目的として、「横川っ子応援隊」を募集しましたところ、約30人の皆様にご登録いただきました。本当にありがとうございます。



今後は、「横川っ子応援隊」が無理なく長続きできる活動のあり方を皆様と協議し、ご登録いただいた人にとっても支援活動が喜びにつながり、横川小学校の子どもたちが地域に愛着と誇りがもてるように進めていきたいと思っております。なお、「横川っ子応援隊」は、随時募集しており、登下校の見守り、授業支援、学校環境の整備などを行って参ります。



## 働き方改革に 思うこと



この夏、私は中学校の吹奏楽コンクールの運営に携わる仕事をする機会がありました。働き方改革を見据えて、愛知県より部活動指導ガイドライン（平成30年4月）が示され、限られた時間の中で成果を上げることが求められるようになりました。私は、演奏の質にどう影響するだろうと思いましたが、要らぬ心配でした。むしろ、演奏の質は昨年度より高まっていると審査員の先生から好評をいただきました。

私は、愛知県の代表に選ばれた、ある学校の生徒の動きをよく観ていました。すべての行動に速さが備わっていました。移動は常に速歩き、挨拶はされる前にする、返事は速く短く、話をしている人を見るなど、その一つ一つの姿勢に形をそろえ、気持ちをそろえることのこだわりが、音楽づくりへのこだわりにつながっているのだと感じました。



極端かもしれませんが、子どもが普段の生活の中で、例えば、トイレのスリッパがそろっていないことに気づけなかったら、友達の考えのよさにも気づけないと思います。形をそろえることにこだわることで、学びに向かう意識が高まるのだと思いました。

働き方改革の趣旨には、心身の健康増進だけではなく、よりよい授業をするための教員の人間性や創造性の向上が含まれています。普段の働き方の中で、子どもたちの成長のために、教員としてこだわって指導しなければならないことを話し合っていきたいと思っております。